



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月1日

上場会社名 株式会社キングジム
コード番号 7962

上場取引所 東

URL <https://www.kingjim.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 宮本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 兼 CFO (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883

四半期報告書提出予定日 2024年2月1日 配当支払開始予定日 2024年3月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年6月21日～2023年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	17,890	△3.7	△780	—	△505	—	△425	—
2023年6月期第2四半期	18,582	14.0	△274	—	△109	—	△197	—

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 △209百万円(—%) 2023年6月期第2四半期 312百万円(33.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年6月期第2四半期	△14.	93	—	—
2023年6月期第2四半期	△6.	92	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2024年6月期第2四半期	37,214		24,452		65.5		853.00	
2023年6月期	35,812		24,833		69.1		867.29	

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 24,365百万円 2023年6月期 24,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2024年6月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年6月21日～2024年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	40,000	1.5	0	△100.0	280	△56.1	260	△38.1	9.11	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年6月期2Q	31,459,692株	2023年6月期	31,459,692株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年6月期2Q	2,895,575株	2023年6月期	2,926,776株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年6月期2Q	28,539,906株	2023年6月期2Q	28,508,667株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- 決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明動画を2024年2月下旬に当社ウェブサイトにて配信する予定です。

決算補足説明資料 <https://www.kingjim.co.jp/ir/library/tansin.html>

決算説明動画 <https://www.kingjim.co.jp/ir/event/presentation.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限緩和により正常化が進み、景気は緩やかに持ち直す動きがみられました。一方で、世界的な金融引き締めに伴う為替変動や、継続的な物価上昇の影響により、今後の国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、第10次中期経営計画(2022年6月期から2024年6月期)の目標達成に向けた取り組みを実行してまいりました。「テブラ」やファイルといった基盤事業のさらなる強化を図りつつ、インテリアライフスタイル事業や衛生・健康用品の拡販、M&Aによる事業領域拡大など、成長分野への注力をしております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、2023年2月に吸収合併した㈱エイチアイエムの売上寄与もありEC事業が伸長したものの、全般的な売上減により売上高は178億9,064万円(前年同期比3.7%減)となりました。利益面では、価格改定による原価率の改善がございましたが、想定を上回る円安進行により大きな改善とはならず、新型コロナ関連用品の在庫の処理や、販管費の増加もあり、営業損失は7億8,099万円(前年同期は2億7,435万円の損失)、経常損失は5億519万円(前年同期は1億966万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億2,599万円(前年同期は1億9,736万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

基盤事業の「テブラ」では、「ヨシ!」でおなじみの人気キャラクター『仕事猫』と新キャラクター『テブラ猫』のインターネット広告をはじめ、ラベル表示需要の掘り起こしを図るため、各種販促・広告活動を積極的に展開しております。また、ラベルの活用術を紹介する『アレコレテブラ』サイトを公開するなど、新たな用途提案を積極的に行うことで、売上拡大に努めてまいります。

成長分野の各カテゴリにおきましては、世の中のニーズに応える商品を開発し、市場に投入いたしました。デジタル文具では、タブレットなどの画面に近づくとライトとブザーで教えてくれる近視対策ライト「めまもりん」を発売いたしました。スタイル文具では、HITOTOKIシリーズの新しいラインアップとして、コスメをモチーフにした新しいシール「コフレ」や、手帳のように使えるノート「HITOTOKI NOTE」の新作を発売し、ご好評をいただいております。バッグ・収納用品では、収納物に合わせてマチが広がるPC用トートバッグ「ジプト」などを発売し、新たなユーザー層の獲得に努めております。

また、日々の暮らしに役立つ商品や社会の変化に対応する商品の提案活動にも、力を入れて取り組んでおります。発売以来多くの方々にお使いいただいている「取扱説明書ファイル」、「冷蔵庫ピタッとファイル」など、用途別に書類を収納できる「スキットマン」シリーズの拡販や、テレビ通販では暮らしを快適にする整理収納用品をご紹介します。職場の節電対策に向けては、エアコンに取りつけるだけで空調効率を向上させる「ハイブリッドファン」のキャンペーンもスタートしております。今後も基盤事業の拡大と新商品のご提案を中心に当社商品の市場への浸透を図り、新たな需要の拡大に取り組んでまいります。

しかしながら、「テブラ」や手指消毒器「テッテ」の販売減などの影響により、売上高は115億5,108万円(前年同期比3.4%減)、価格改定による原価率の改善があったものの、新型コロナ関連用品の在庫の処理や、販管費等の増加により、営業損失は9億1,973万円(前年同期は4億5,662万円の損失)となりました。

② インテリアライフスタイル事業

（株）ぼん家具では、主力の収納用品は堅調な売上を維持しましたが、テーブル・デスクなどの大型家具が低調に推移しました。新製品は、主力の組み立て家具に加え、スタンドライトなどの照明も発売しました。ライフオンプロダクツ（株）では、冬物商材として、砂時計型加湿器やアロマストーン付き加湿器などの卓上加湿器を展開しました。また、昨年から人気の充電式のカイロ・蓄熱式電気湯たんぽのラインアップを強化し売上が伸びました。（株）ラドennaでは、より嗜好性の高い高価格帯のコーヒーメーカーや、手軽にお買い求めいただける低価格のキッチン家電・加湿器などはメディアに取り上げられた影響もあり、好調でした。また、注力しているTV通販が売上を伸ばしており、主力のチャンネルに成長しつつあります。しかしながら、コト消費志向の影響を受け、主力のキッチン家電の販売が鈍化し、暖冬の影響により加湿器も振るわず、厳しい状況でした。（株）アスカ商会では、引き続き小売店は不調でしたが、装飾関連では徐々に復調の兆しが見られます。

この結果、ライフオンプロダクツ（株）は好調だったものの、その他の国内グループ会社が振るわず、売上高はインテリアライフスタイル事業全体で 63億3,955万円（前年同期比 4.2%減）、値上げ効果や新製品の導入で原価率はやや改善したものの、売上減の影響が大きく、営業利益は1億2,748万円（前年同期比 26.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、14億262万円増加し、372億1,477万円となりました。これは主に、商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、17億8,358万円増加し、127億6,239万円となりました。これは主に、運転資金需要等として短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、3億8,095万円減少し、244億5,237万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加した一方、親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較し、現金及び現金同等物が 3,404万円増加し、59億5,779万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ8億6,347万円減少し、9億5,810万円となりました。これは主に、仕入債務の増加額5億3,237万円や減価償却費2億9,200万円等があった一方、棚卸資産の増加額14億5,364万円や税金等調整前四半期純損失4億451万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ10億5,520万円減少し、2億498万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の売却による収入1億5,411万円があった一方、有形及び無形固定資産の取得による支出3億7,314万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ17億5,140万円減少し、10億8,655万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出3億2,378万円や配当金の支払いによる支出1億9,970万円があった一方、短期借入金の純増額16億1,000万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,372,104	6,374,101
受取手形	419,505	210,471
売掛金	4,647,476	4,817,723
商品及び製品	10,003,871	11,557,497
仕掛品	392,743	377,347
原材料及び貯蔵品	1,457,402	1,414,647
その他	814,015	643,471
貸倒引当金	△385	△435
流動資産合計	24,106,732	25,394,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,163,085	6,156,155
減価償却累計額	△4,054,465	△4,100,244
建物及び構築物(純額)	2,108,619	2,055,911
機械装置及び運搬具	3,281,832	3,390,982
減価償却累計額	△2,986,364	△3,103,434
機械装置及び運搬具(純額)	295,467	287,547
土地	1,582,384	1,570,022
建設仮勘定	170,930	178,908
その他	2,999,850	3,074,199
減価償却累計額	△2,759,704	△2,784,305
その他(純額)	240,145	289,894
有形固定資産合計	4,397,548	4,382,284
無形固定資産		
のれん	1,468,377	1,348,097
その他	751,694	816,148
無形固定資産合計	2,220,071	2,164,245
投資その他の資産		
投資有価証券	2,937,881	3,034,252
退職給付に係る資産	1,516,615	1,573,072
繰延税金資産	196,139	215,550
その他	439,105	451,815
貸倒引当金	△1,949	△1,274
投資その他の資産合計	5,087,793	5,273,416
固定資産合計	11,705,413	11,819,946
資産合計	35,812,145	37,214,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,334,717	1,873,621
短期借入金	3,190,000	4,800,000
1年内返済予定の長期借入金	505,547	489,960
未払法人税等	188,871	144,848
未払金	811,689	749,429
役員賞与引当金	17,952	5,295
契約負債	35,805	56,969
その他	959,533	1,039,975
流動負債合計	7,044,116	9,160,101
固定負債		
長期借入金	2,265,384	1,957,191
繰延税金負債	819,665	741,394
退職給付に係る負債	452,213	483,220
資産除去債務	31,447	31,918
その他	365,984	388,569
固定負債合計	3,934,694	3,602,293
負債合計	10,978,811	12,762,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,718,670	1,718,919
利益剰余金	22,279,949	21,654,220
自己株式	△2,587,278	△2,559,696
株主資本合計	23,390,032	22,792,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,048,538	1,119,108
繰延ヘッジ損益	5,179	△12,832
為替換算調整勘定	193,884	366,341
退職給付に係る調整累計額	108,612	100,537
その他の包括利益累計額合計	1,356,214	1,573,155
新株予約権	87,088	87,088
純資産合計	24,833,334	24,452,377
負債純資産合計	35,812,145	37,214,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年6月21日 至2022年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年6月21日 至2023年12月20日)
売上高	18,582,314	17,890,641
売上原価	12,054,116	11,452,605
売上総利益	6,528,197	6,438,035
販売費及び一般管理費	6,802,550	7,219,029
営業損失(△)	△274,352	△780,994
営業外収益		
受取利息	6,120	8,895
受取配当金	78,692	99,975
為替差益	20,771	114,728
受取賃貸料	75,432	74,828
その他	29,802	21,188
営業外収益合計	210,819	319,617
営業外費用		
支払利息	19,853	20,818
賃貸収入原価	23,015	22,516
その他	3,260	486
営業外費用合計	46,129	43,821
経常損失(△)	△109,662	△505,199
特別利益		
固定資産売却益	—	137,740
関係会社出資金売却益	14,693	—
特別利益合計	14,693	137,740
特別損失		
固定資産除却損	65	829
特別退職金	—	36,223
特別損失合計	65	37,052
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,034	△404,511
法人税、住民税及び事業税	100,903	130,880
法人税等調整額	△23,088	△108,821
過年度法人税等	24,416	△571
法人税等合計	102,230	21,487
四半期純損失(△)	△197,265	△425,999
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△197,367	△425,999

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2022年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月21日 至 2023年12月20日)
四半期純損失(△)	△197,265	△425,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	296,330	70,570
繰延ヘッジ損益	△29,723	△18,011
為替換算調整勘定	236,925	172,457
退職給付に係る調整額	5,933	△8,074
その他の包括利益合計	509,466	216,941
四半期包括利益	312,200	△209,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,098	△209,057
非支配株主に係る四半期包括利益	101	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月21日 至 2022年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月21日 至 2023年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,034	△404,511
減価償却費	295,218	292,000
のれん償却額	82,174	120,280
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,807	△644
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32,941	6,333
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△48,827	△61,071
受取利息及び受取配当金	△84,812	△108,870
支払利息	19,853	20,818
為替差損益(△は益)	43,246	△3,002
固定資産除売却損益(△は益)	65	△136,910
関係会社出資金売却益	△14,693	—
特別退職金	—	36,223
売上債権の増減額(△は増加)	△183,892	51,798
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,273,146	△1,453,640
その他の資産の増減額(△は増加)	76,979	91,014
仕入債務の増減額(△は減少)	485,114	532,375
未収消費税等の増減額(△は増加)	31,893	64,624
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,456	△92,493
その他の負債の増減額(△は減少)	26,225	130,834
その他	11,927	19,777
小計	△1,665,913	△895,064
利息及び配当金の受取額	84,711	111,744
利息の支払額	△22,057	△21,161
法人税等の支払額	△240,171	△167,497
法人税等の還付額	21,846	18,150
和解金の受取額	—	6,000
特別退職金の支払額	—	△10,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,821,584	△958,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△333,739	△373,146
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	154,115
投資有価証券の取得による支出	△149,642	—
貸付けによる支出	△137,450	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,944	△11,296
敷金及び保証金の回収による収入	3,632	1,332
定期預金の預入による支出	△321,000	△303,500
定期預金の払戻による収入	219,602	342,102
子会社株式の取得による支出	△550,000	—
関係会社出資金の売却による収入	14,693	—
その他	△3,342	△14,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,260,191	△204,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,500,000	1,610,000
長期借入金の返済による支出	△225,854	△323,780
配当金の支払額	△426,600	△199,700
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△9,400	—
その他	△187	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,837,957	1,086,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	141,202	110,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△102,615	34,044
現金及び現金同等物の期首残高	5,637,384	5,923,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,534,768	5,957,797

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月21日 至 2022年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,961,871	6,620,443	18,582,314	—	18,582,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,409	139,896	190,305	△190,305	—
計	12,012,280	6,760,339	18,772,619	△190,305	18,582,314
セグメント利益又は損失(△)	△456,625	172,306	△284,318	9,966	△274,352

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 9,966千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年6月21日 至 2023年12月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,551,087	6,339,553	17,890,641	—	17,890,641
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,180	115,142	153,323	△153,323	—
計	11,589,268	6,454,695	18,043,964	△153,323	17,890,641
セグメント利益又は損失(△)	△919,737	127,484	△792,253	11,258	△780,994

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 11,258千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。